

(小論文 1 日目)

あなたは会社を経営しているのですが、新規事業に失敗して、4000万円の負債を一カ月以内に返さないと、会社は不渡りを出して倒産してしまいます。子供も生まれたばかりで、倒産した場合、筋の悪い金主もいて親子ともども夜逃げをしなくてはならない状況です。ところが疎遠だった母親が死亡したという知らせがきて、十年ぶりに実家に戻ると、5000万円の遺産があることが分かりました。あなたには軽度の知的障害のある兄弟が1人いて母親がずっと面倒をみていたのですが、上手いこと言えば相続を放棄させるか、あるいは遺産の配分を1対4程度にもって行って、4000万円を確保することはできそうです。なお、父親はだいぶ以前にすでに他界しています。

あなたはどうしますか。自分がどうするかということと、その理由を600字以内で記述してください。

(小論文 2 日目)

ある脚本家は、若手の俳優を育てるため、演技以外に様々なことをさせていました。その一つとして生きたニワトリの首の切り方を次のように教え、敢えて彼らに実行させることもありました。

僕が生きたニワトリの首の切り方を教えた。それを塾生にさせようとする、「残酷だ」と言う。誰かがそれをやっているのだ。みんなべそをかきながらやっていた。

『死の臨床』69号 2017年より引用

あなたが若手の俳優志望者（医師志望者ではない）だとしたら、俳優のこうした育成方法をどのように考えますか。600字以内で記述してください。